

IV 保 健 予 防 課

1 感染症対策

感染症法に基づく発生届の受理時や集団発生時に、積極的疫学調査や保健指導を実施し、感染症のまん延防止に努めました。また、管内の関係機関と感染症に係わる情報を共有し、連携して感染症のまん延防止と迅速かつ適切な対応がとれるよう、地域全体の感染症対策の推進を図ることを目的に対策連絡会議を設置し、開催しました。

蚊媒介感染症対策の一環として、蚊の生息調査を実施しました。

2 結核予防対策

感染症法に基づき、結核患者及びその家族等に対する医療・保健指導を行うとともに、医療機関、薬局等と連携して、患者が治療を完遂できるよう服薬支援を実施しました。

また、患者家族等の接触者に対し、健康診断を実施し、結核の早期発見・まん延防止に努めました。

3 エイズ予防・性感染症予防対策

エイズ相談検査を実施するとともに、青少年を対象にエイズ・性感染症の正しい知識を普及するため講演会を実施し、パンフレットを配布するなど予防啓発事業を実施しました。

4 難病対策

難病患者への医療援護事務を行うとともに、難病対策地域協議会を設置し協議会を開催しました。また、難病患者地域支援ネットワーク事業として、在宅療養者支援計画策定・評価事業、講演会、つどい、訪問相談事業等を実施しました。

医療依存度の高い神経難病等患者と介護者の療養支援を目的とする在宅難病患者緊急一時入院の利用にあたって、申請受付を行うとともに療養相談を行いました。

また、地域の人材育成として、在宅難病患者保健福祉従事者等研修を実施しました。

5 肝疾患対策

ウイルス性肝炎の早期発見と二次感染予防のため検査を実施しました。

また、B型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療やC型ウイルス性肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療を実施する方に対する医療援護事務を行いました。

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、健康手帳等の申請等に係わる経由事務及び健康診断を実施しました。

7 骨髄ドナー登録

白血病等の血液難病患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため登録受付を行いました。

8 認知症疾患対策

認知症疾患相談事業として、専門医・保健師等による相談・訪問指導を実施し、適正な診断・治療を受けるための指導、療養生活支援、家族に対する保健指導を行いました。若年性認知症対策として若年性認知症シンポジウムを開催し、普及啓発を行いました。

9 精神保健福祉対策

精神疾患の早期発見早期治療を図るため、専門医・福祉職・保健師による相談・訪問を行いました。また、関係機関や団体との連携を図るため、会議を開催するとともに関係団体への支援を実施しました。

その他、自殺防止対策として関係機関との連絡会議及びゲートキーパー養成講座を実施しました。また、長期入院患者の地域移行・地域定着支援を進めるため、精神保健福祉センターの「地域につなげようプロジェクト」のモデル地域として県西障害保健福祉圏域が参画し、会議や部会に参加し、実態調査等実施しました。

1 感染症対策

(1) 感染症発生状況

	発生件数	患者数	無症状病原体保有者数	接触者検便延数	備考
総数	31	21	10	12	
1類感染症					
2類感染症					
3類感染症	12	7	5	12	腸管出血性大腸菌感染症 11 細菌性赤痢1
4類感染症	5	5			レジオネラ症 4 つつが虫病1
5類感染症	14	9	5		カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 急性脳炎 4 後天性免疫不全症候群2 梅毒 4 侵襲性肺炎球菌感染症1 水痘（入院例に限る）2

※2類感染症は結核を除く数

※5類感染症は全数把握のみ

(2) 通報等に伴う調査

	通報件数	調査者数	患者・保菌者数	行政検便延件数
総数	3	4		
検疫所からの通報				
他県等からの通報	3	4		

(3) 集団かぜによる学級閉鎖・学年閉鎖状況

	平成28年度			平成27年度		
	施設数(実)	施設数(延)	欠席者数	施設数(実)	施設数(延)	欠席者数
総数	21	35	313	22	59	548
幼稚園	1	1	4	2	3	38
小学校	16	25	231	20	56	510
中学校	1	3	38			
高等学校	2	4	35			
特別支援学校	1	2	5			

(4) 社会福祉施設等における感染症報告に伴う報告・相談状況

疾患名	施設種別	件数
インフルエンザ	高齢者施設	13
	障害者施設	3
	医療機関	2
感染性胃腸炎	なし	
		18

(5) 感染症対策連絡会議

開催日	内容	参加者
H28. 6. 27	① 平成27年度 感染症発生動向について ② 蚊媒介感染症について ③ 蚊媒介感染症の対応について ④ 各所(機関)の取組み、情報(意見)交換 ⑤ 健康危機管理課より報告(説明)	12機関 17名 小田原医師会 小田原市立病院 市町消防本部 市町健康担当課 県健康危機管理課 当所

(6) 蚊の生息調査 (於：小田原市上府中公園 方法：CO2 トラップによる調査)

	H28. 6. 16 ～17	H28. 7. 13 ～14	H28. 8. 9 ～10	H28. 9. 14 ～15	H29. 10. 12 ～13	総計
総計	25	23	84	67	70	369
遊歩道休憩所	92	14	51	18	56	231
野球場東	33	9	33	49	14	138
(再掲)遊歩道休憩所	92	14	51	18	56	231
ヒトスジシマカ(雌)	27	0	25	2	6	60
アカイエカ群(雌)	54	9	4	4	10	81
その他	11	5	22	12	40	90
(再掲)野球場東	33	9	33	49	14	138
ヒトスジシマカ(雌)	9	1	15	40	0	65
アカイエカ群(雌)	24	8	4	0	4	40
その他	0	0	14	9	10	33

ウイルス検査は、全て不検出
 デングウイルス・ジカウイルス・日本脳炎ウイルス
 ウエストナイルウイルス・チクングニアウイルス

(7) 感染症研修会

開催日	対象	テーマ	講師	会場	参加者数
H28. 4. 26	医師会感染症研究会 出席者	蚊を媒介とする 感染症対策	当所 保健師	小田原市 保健センター	39
H28. 10. 15	障害者施設利用者	感染症の予防	当所 保健師	国際医療 福祉大学	20
H28. 10. 19	介護保険事業所職員	感染症対策研修会 施設における感染症予防	当所医師 保健師	小田原 合同庁舎	26
H28. 12. 9	大学医学生	感染症について	当所 保健師	当所	12
H29. 1. 10 12 13	当所職員	防護服の着脱訓練	当所 保健師	当所	56
H29. 1. 24	医師会感染症研究会 出席者	ノロウイルスについて	当所 医師	小田原市 保健センター	40

(8) 個別保健指導

方法	訪問	面接	電話	文書・メール	計
件数	47	8	297	0	352

(9) 手洗いチェッカーの貸出

事業所区分	介護老人福祉施設	保育園	自治会
件数	1	1	1

2 結核予防対策

(1) 感染症診査協議会結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告の診査等のため、定例的（第2・4水曜日）に開催するとともに必要に応じ臨時開催しました。

ア 開催状況

	定例開催	臨時開催	計
開催回数	24	16	40

イ 診査の状況

区分	診査件数	入院勧告	入院延長	就業制限	公費負担承認	公費負担不承認	公費負担保留
法第20条	63	17	46				
法第18条 *	4			4			
法第37条の2	78				78	0	0

*診査分の他、報告13件あり。

(2) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別・市町別登録患者数

(平成28年12月31日現在)

		総数	活動性結核				不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
			肺結核活動性			肺外結核活動性			
			登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他				
総数		79	12	13	2	3	40	9	45
受療別	入院	8	7		1				
	在宅医療	22	5	13	1	3			5
	経過観察	49					40	9	40
	不明	0							
市町別	小田原市	54	10	6	2	3	28	5	30
	箱根町	5		2			2	1	
	真鶴町	4		1			3		1
	湯河原町	16	2	4			7	3	14

(イ) 年齢階級別登録患者数

(平成28年12月31日現在)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他				
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
総数	79	12	13	2	3	40	9	45	
0～4歳	0							1	
5～9歳	0								
10～14歳	0								
15～19歳	1					1		2	
20～29歳	2		1			1		4	
30～39歳	3	1	1			1		4	
40～49歳	8		1			5	2	5	
50～59歳	10		2	1		5	2	11	
60～69歳	14	4	1			7	2	10	
70歳以上	41	7	7	1	3	20	3	8	

(ウ) 新登録患者数

(平成28年1月1日～12月31日)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他		
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他			
総数	40	18	14	4	4	12	
0～4歳	0						
5～9歳	0						
10～14歳	0						
15～19歳	0					1	
20～29歳	2		1	1		1	
30～39歳	2	1	1				
40～49歳	2	1	1				
50～59歳	3		2	1		5	
60～69歳	6	4	1	1		4	
70歳以上	25	12	8	1	4	1	

(エ) 結核患者登録率の推移（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
平成24年	4,008	44.2	87	35.6
平成25年	3,692	40.7	88	36.2
平成26年	3,556	39.1	97	40.2
平成27年	3,426	37.5	72	30.2
平成28年	—	—	79	33.4

(オ) 結核り患率の推移（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
平成24年	1,395	15.4	41	16.8
平成25年	1,353	14.9	42	17.3
平成26年	1,329	14.6	42	17.4
平成27年	1,311	14.4	24	10.1
平成28年	—	—	40	16.9

(カ) 結核有病率（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
平成24年	1,022	11.3	27	11.0
平成25年	913	10.1	26	10.7
平成26年	937	10.3	33	13.7
平成27年	922	10.1	17	7.1
平成28年	—	—	30	12.7

(3) 健康診断

結核感染の早期発見を目的として、接触者健診を行いました。
また、結核患者登録票を基に、必要な者に対し管理健診を実施しました。

	実人員	QFT 検査(延べ)		エックス線直接撮影 (延べ)		結果			
		当所	医療機関	当所	医療機関	患者発見	潜在性結核感染症	要経過観察	
接触者健診	家族	48	67	0	0	2	0	3	3
	その他	98	109	0	15	2	0	3	3
管理健診	1			0	1		0	0	0

(4) 保健指導

ア 実施状況

適切な医療の確保、医療中断の防止、患者の内服支援、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の保健指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導 (延べ)			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
128	325	1,605	298	12	1,915

イ 保健所DOTS実施状況 (対象 59名)

	訪問	面接	電話	薬局
実人員	27	19	16	5
延べ人員	86	106	96	29

※電話での内服確認は、他疾患入院中等の患者に対して実施しました。

ウ 薬局DOTS実施状況

公益社団法人小田原薬剤師会と協力し、薬局において患者の内服支援を実施しました。

(ア) 登録薬局数

	平成28年度	平成27年度
登録薬局数	35	28

(イ) 薬局DOTS実施者数

	平成28年	平成27年度
実施者数	5	3

(5) 研修

ア 結核医療従事者研修

開催日	内容	講師	会場	参加者数
H28. 4. 21	① 結核の動向、基礎知識、 ② 地域薬局における薬局DOTSの推進について	公益財団法人結核予防会 結核研究所対策支援部長 小林 典子氏 当所保健師	小田原市 保健 センター	94
H28. 10. 21	高齢者の結核と 最新情報について	公益財団法人結核予防会 結核研究所対策支援部 企画・医学科 末永 麻由美氏	小田原 保健福祉 事務所	48

イ 施設等での普及啓発活動

対象	内容	講師	回数	参加者数
介護事業所	結核の知識、管内の状況、 患者への対応について	当所保健師・医師	3	20
大学生	結核の動向、管内の状況について	当所保健師・事務	1	12
企業	パンフレット等による 結核の知識、情報提供	当所保健師	2	182
イベント参加者	パンフレット等による 結核の知識、情報提供	当所保健師	3	404

3 エイズ予防・性感染症予防対策

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

エイズ相談は医師・保健師による随時相談、検査は月1回水曜日に匿名、予約制で実施しました。

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
相談件数	659	418	428	392	442	313	329	255	160
検査実施数	169	112	128	108	115	80	83	69	52

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
総数	2	19	16	7	3	5	52
男	1	10	11	5	3	4	34
女	1	9	5	2	0	1	18

(2) エイズ予防啓発事業

開催日	内容	会場	参加者数
H28. 3. 16～4. 15 (春のレッドリボン月間)	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	52
H28. 6. 15	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	小田原短期大学	202
H28. 9. 2	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	65
H28. 9. 16	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	小澤高等看護学校	28
H28. 9. 22	小田原高校定時制学園祭での パンフレット、コンドームの配布	小田原高校	140
H28. 11. 8	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	国際保健福祉大学 小田原キャンパス	86
H28. 11. 16～12. 15 (秋のレッドリボン月間、 世界エイズデー)	予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	30
H28. 11. 28～12. 22	世界エイズデーにあわせ、 予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	300

4 難病対策

(1) 特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数

平成26年12月31日までは56疾患の難病に対して助成を実施していましたが、平成27年1月1日より「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、これにより現在330疾患が指定難病として指定されています。

指定難病医療受給者証交付件数（平成29年3月31日現在）

※管内に患者がいる疾患のみ掲載

告示番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計	告示番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計
1	球脊髄性筋萎縮症	2	1	0	1	4	66	IgA腎症	7	1	2	4	14
2	筋萎縮性側索硬化症	17	1	0	1	19	67	多発性嚢胞腎	9	2	2	3	16
3	脊髄性筋萎縮症	3	1	0	1	5	68	黄色靱帯骨化症	1	2	0	1	4
5	進行性核上性麻痺	3	0	0	0	3	69	後縦靱帯骨化症	60	4	1	12	77
6	パーキンソン病	185	13	6	37	241	70	広範脊柱管狭窄症	1	0	0	3	4
7	大脳皮質基底核変性症	6	1	1	0	8	71	特発性大腿骨頭壊死症	36	5	1	1	43
11	重症筋無力症	30	2	2	4	38	72	下垂体性ADH分泌異常症	3	0	0	1	4
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	26	1	2	5	34	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3	0	0	0	3
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	7	0	0	2	9	75	クッシング病	1	0	0	0	1
16	クロー・深瀬症候群	2	0	0	0	2	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1	0	0	0	1
17	多系統萎縮症	22	0	1	4	27	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	2	1	1	2	6
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	40	4	2	7	53	78	下垂体前葉機能低下症	13	1	0	2	16
19	ライソゾーム病	3	1	0	0	4	83	アジソン病	1	0	0	0	1
21	ミトコンドリア病	4	0	0	1	5	84	サルコイドーシス	10	0	2	2	14
22	もやもや病	32	2	0	2	36	85	特発性間質性肺炎	18	0	1	1	20
23	プリオン病	1	0	0	0	1	86	肺動脈性肺高血圧症	6	0	0	2	8
26	HTLV-1関連脊髄症	1	0	0	0	1	88	慢性血栓性肺高血圧症	5	0	0	0	5
28	全身性アミロイドーシス	4	0	0	0	4	89	リンパ管筋腫症	1	0	0	0	1
34	神経線維腫症	6	0	0	1	7	90	網膜色素変性症	46	3	4	8	61
35	天疱瘡	9	0	1	2	12	93	原発性胆汁性肝硬変	22	3	2	2	29
37	膿疱性乾癬（汎発型）	2	0	0	0	2	94	原発性硬化性胆管炎	1	0	0	0	1
40	高安静脈炎	6	1	1	0	8	95	自己免疫性肝炎	2	0	1	1	4
41	巨細胞性動脈炎	1	0	0	0	1	96	クローン病	91	3	1	8	103
42	結節性多発動脈炎	3	0	1	0	4	97	潰瘍性大腸炎	279	18	6	36	339
43	顕微鏡的多発血管炎	16	3	3	1	23	98	好酸球性消化管疾患	1	0	0	0	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	5	0	0	0	5	111	先天性ミオパチー	1	0	0	0	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	0	0	0	1	113	筋ジストロフィー	11	3	1	0	15
46	悪性関節リウマチ	6	1	0	1	8	117	脊髄空洞症	1	0	0	0	1
47	バージャー病	2	0	1	1	4	127	前頭側頭葉変性症	1	0	0	0	1
49	全身性エリテマトーデス	107	4	5	7	123	160	先天性魚鱗癬	0	2	0	0	2
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	41	3	1	2	47	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	0	0	0	1	1
51	全身性強皮症	47	2	1	9	59	220	急速進行性糸球体腎炎	0	0	0	1	1
52	混合性結合組織病	19	0	1	0	20	222	一次性ネフローゼ症候群	7	0	1	0	8
53	シェーグレン症候群	8	0	1	1	10	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	0	0	0	1
54	成人スチル病	3	0	0	0	3	224	紫斑病性腎炎	0	0	1	0	1
56	ベーセツト病	26	3	2	7	38	225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	1	1
57	特発性拡張型心筋症	36	0	2	1	39	257	肝型糖尿病	1	0	0	0	1
58	肥大型心筋症	2	0	0	1	3	271	強直性脊椎炎	4	0	0	1	5
59	拘束型心筋症	0	0	0	0	0	283	後天性赤芽球癆	1	0	0	0	1
60	再生不良性貧血	11	0	1	1	13	296	胆道閉鎖症	1	0	0	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	36	4	1	1	42	306	好酸球性副鼻腔炎	3	0	0	0	3
65	原発性免疫不全症候群	1	0	0	0	1		総数	1,434	96	63	194	1,787

(2) 難病対策地域協議会

関係機関が相互の連絡を図ることにより、地域における難病の患者への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制整備について協議するために、足柄上センターと協議会を設置し、開催しました。

開催日	内 容	出席者数
H29. 2. 23	① 神奈川県及び管内における難病対策並びに患者状況について ② 各機関における難病対策の取組み状況と課題について ③ 今後の難病対策の取組みについて	27

(3) 難病患者地域支援ネットワーク事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、保健、医療及び福祉に関するつどい、相談指導等を実施するとともに、きめ細やかな支援の必要な難病患者に対し、関係機関との連携のもと適切な在宅療養支援を提供するための検討を行いました。

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅療養支援計画策定・評価委員会

難病患者への保健福祉事業が円滑かつ効果的に行われるために、難病患者とその家族を取り巻く状況や課題等を把握検討し、管内の難病保健福祉ケアの向上を図りました。

(ア) 神経難病医療ネットワーク検討会として開催

開催日	内 容	出席者数
H28. 6. 30	① 重度訪問介護について 講師：日本ALS協会理事 川口 有美子氏 ② 各所の取組み、情報交換	31
H28. 12. 5	① 地域における神経難病患者への支援体制について ② 難病患者のための保健福祉サービスガイドブック（案）について	26

(イ) 医療機器装着神経難病患者への支援計画の検討 (2名)

イ 難病講演会

開催日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
H28. 9. 29	パーキンソン病 ～病気・治療を理解して、 うまく療養生活を送りましょう～	武井内科医院 理事長 武井 和夫氏	小田原合同庁舎	68

ウ 難病患者と家族のつどい(対象 全疾患)

開催日	内 容	担当者	会 場	参加人数
H28. 4. 19	健康相談、歌、体操、交流会他	当所保健師 ボランティア	小田原保健 福祉事務所 集団活動室	10
H28. 7. 19				12
H28. 11. 15				13
H29. 2. 21				10
H29. 3. 21				4

エ リハビリ教室 (対象 パーキンソン病)

開催日	内 容	講 師	会 場	参加人数
H28. 8. 31	講話・実技指導 「ミニリハビリ体操教室」	運動指導員 橘高 靖子氏	小田原保健福祉事務所 集団活動室	17

オ 訪問相談事業

訪問相談員として保健師、看護師を雇用し、要支援難病患者宅を訪問し、患者・家族の療養上の悩みに対して相談指導を実施し療養を支援しました。

実施回数	訪問		面接		電話	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
28	11	17	15	15	59	59

カ 保健師による家庭訪問・所内指導

家庭訪問

	神 経 系	膠 原 病	消化器系	血 液 系	循環器系	総 数
実人数	15				2	17
延人数	25				2	27

随時相談

面 接	電 話	その他	総 数	主 な 相 談 内 容 (延べ)					
				申 請	医 療	看 護	福 祉	その他	計
81	389	5	475	247	28	0	423	26	724

(4) 難病特別対策推進事業

ア 在宅神経難病患者緊急一時入院 (平成17年4月より開始)

2次医療圏に1床、県域で8床、管内は箱根病院、足柄上病院に1床ずつ確保されています。医療依存度の高い神経難病患者等の介護者のレスパイトや介護困難時の一時入院受け入れに伴う申請受付と療養相談を行いました。

〈利用者の状況〉 利用回数 7件 (実利用者数 6名)

利用者	利用月	疾 患	医療機器	性別	理 由	期 間	受入病院
A	H28. 4 H28. 8	パーキンソン病	吸引気、胃ろう	男性	介護疲労	10日間 11日間	足柄上病院
B	H28. 4	結節性動脈周囲炎	吸引器、胃ろう	男性	介護疲労	12日間	足柄上病院
C	H28. 10	筋萎縮性 側索硬化症	なし	女性	介護疲労	12日間	箱根病院
D	H28. 11	筋萎縮性 側索硬化症	人工呼吸器、吸引器、経管栄養、カフアシスト	女性	介護疲労	4日間	箱根病院
E	H28. 12	多発性筋炎	気管切開、吸引、胃ろう、	女性	介護疲労	7日間	足柄上病院
F	H29. 1	脊髄小脳変性症	吸引器	女性	介護疲労	13日間	神奈川県 リハビリテーション 病院

イ 在宅難病患者保健福祉従事者等研修会

地域で難病患者に関わっている支援者（ケアマネジャー、介護ヘルパー、サービス提供責任者、訪問看護師、地域包括支援センター職員、行政保健師等）を対象に、個別事例や地域での支援課題をテーマにスキルアップを目的に実施しました。

開催日	テーマ	講師	会場	参加人数
H28. 11. 21	難病患者支援のための基礎講座	横浜市立市民病院 神経内科 山口 滋紀氏	小田原合同庁舎	93

5 肝疾患対策

肝疾患医療給付申請者に対し申請事務を行うとともに、定例相談、検査を実施しました。

(1) ウイルス性肝炎相談及びC型肝炎・B型肝炎ウイルス検査実施状況

定例相談				受診券発行
実施回数	検査人数	検査内容		
		HCV抗体	HBs抗原	
2回	3人	3件	3件	3件

(2) 肝炎治療医療費助成制度

平成20年4月からインターフェロン治療に対する医療費助成制度が開始され、B型肝炎の治療として平成22年4月から核酸アナログ製剤治療が助成の対象となりました。また、C型肝炎の治療として平成24年1月からインターフェロン及び内服薬による3剤併用療法が、更に平成26年9月からインターフェロンフリー治療が医療費助成の対象となりました。

区分	申請者数	
インターフェロン治療	1	
核酸アナログ製剤治療	新規	11
	更新	83
インターフェロンフリー治療	101	
3剤併用療法	0	

6 原爆被爆者援護

(1) 原爆被爆者健康管理事業

ア 被爆者健康手帳等交付状況

	H28.3月末現在 手帳保有者	新規申請
総 数	130	2
被 爆 者 健 康 手 帳	60	0
第1種健康診断受診者証	0	0
第2種健康診断受診者証	0	0
被爆者のこども受診者証	70	2

イ 被爆者健康診断実施状況

	受診者				要精検者	要治療	
	総 数	被爆者	第1・2種	被爆者の こども			
平成27年度	14	10	0	4	4	0	
平成28年度	総 数	18	12	0	6	11	0
	第1回 5月	8	6	0	2	6	0
	第2回 11月	10	6	0	4	5	0

7 骨髄ドナー登録

白血病、重症再生不良性貧血等の患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、骨髄移植推進財団を中心に骨髄バンク事業が実施されていますが、平成7年度から骨髄提供希望者のより一層の確保を図るため、県域では、小田原保健福祉事務所、厚木保健福祉事務所大和センターの2か所が登録受付業務を実施しています。

(1) 小田原保健福祉事務所登録受付の状況

	26年度	27年度	28年度
総 数	0	0	4
男			
女			4

(2) 骨髄バンクの状況

	全 国	神奈川県
提供希望者（ドナー）登録者数	470,270	20,111
移植希望者登録者数	3,483	76
骨髄移植例数（累計）	20,547	1,134

※骨髄移植推進財団日本骨髄バンク 骨髄バンクデータ集資料より 平成29年3月31日現在

8 認知症疾患対策

(1) 認知症疾患相談

ア 定例相談

認知症が疑われるが受診に結びつかない対象者に対し、健康相談として精神科医と訪問ができる貴重な場面にもなっています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法 (延数)			相 談 内 容 (延数)						
		訪 問	面 接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	介護保険 サービス	その他
14	14	12	2	0	8	9	3	1	0	1	1

イ 随時相談

若年性認知症や独居、高齢者虐待など処遇困難な事例が増えており、市町や地域包括支援センターからの相談が増えています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法			相 談 内 容 (延数)						
		電 話	面 接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	介護保険 サービス	その他
55	102	97	3	2	56	44	27	2	17	2	41

(2) 認知症疾患訪問指導

	訪 問 数						年 齢 別 (実数)					
	男		女		総数		60歳 未 満	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	総数
	実数	延数	実数	延数	実数	延数						
件数	1	1	2	4	3	5	3	2	0	0	0	5

(3) 処遇困難事例検討事業

一般住民や、地域で認知症患者に関わっている支援者を対象に、事例検討会や講演会を開催しました。

ア 処遇困難事例検討

開催日	出席者	講師	会場	参加者
H28. 11. 25	地域包括支援センター、市高齢介護課 当所職員（保健師、ケースワーカー）	なし	小田原保健 福祉事務所	6
H28. 12. 22	地域包括支援センター、市高齢介護課、 市生活支援課、ケアマネジャー、 介護保険事業所、司法書士、弁護士、当所保健師	なし	地域包括 支援センター	10

イ 認知症サポーター養成事業

開催日	講師	講師	会場	参加者
H28. 9. 9	神奈川県土地家屋調査士会	当所 保健師	小田原市市民会館	450
H28. 12. 16	小田原労働基準監督署	当所 保健師	小田原市 川東タウンセンター	90
H29. 1. 23	(一社) 神奈川県建築事務所協会 県西支部	当所 保健師	当所 集団指導室	12

ウ 認知症患者家族の交流会（おだわら家族会）

認知症の方を介護する家族、認知症サポーターや介護ボランティア、関係職員を対象に、ピアカウンセリングの場として小田原市と共催で家族交流会を実施しました。

開催日	内容	参加者数
H28. 4. 15	交流会	7
H28. 5. 20	交流会	13
H28. 6. 17	交流会	16
H28. 7. 15	医師を囲んで交流会 講師 ひまわりメンタルクリニック院長 小林 博子 氏	13
H28. 8. 19	交流会	10
H28. 9. 16	交流会	13
H28. 10. 21	交流会	10
H28. 11. 18	交流会	13
H28. 12. 16	クリスマス会	17
H29. 1. 20	交流会	17
H29. 2. 17	交流会	18
H29. 3. 17	交流会	13

エ 認知症患者家族の交流会（ゆがわら・まなづる家族会）

真鶴町・湯河原町で開催した、認知症患者家族の交流会へ支援を行いました。

開催日	内 容	参加者数
H29. 3. 29	参加者間の交流、情報交換など	4

オ 関係機関との連携

(ア) 小田原市初期集中支援事業チーム員会議との連携

小田原市で開催している初期集中支援事業チーム員会議へ出席しました。

回数	6回
----	----

(イ) 認知症をにんちしよう会との連携

保健・医療・福祉の関係団体と、行政から構成され、小田原市が事務局となっている「認知症をにんちしよう会」に構成機関として参画し、活動しました。

開催日	内 容	会場	参加者
H28. 4. 30	認知症シンポジウム ～認知症の方が住みやすいまちづくりを目指して！～	小田原市民会館	251
H28. 5. 23	第1回認知症をにんちしよう会実行委員会	おだわら 医療福祉会館	
H28. 7. 11	第2回認知症をにんちしよう会実行委員会	おだわら 医療福祉会館	
H28. 9. 25	認知症をにんちしよう会イベント	ハルネ小田原 うめまる広場	延 1867
H28. 11. 9	第3回認知症をにんちしよう会実行委員会	おだわら 医療福祉会館	
H29. 1. 30	第4回認知症をにんちしよう会実行委員会	おだわら 医療福祉会館	

(4) 若年性認知症対策事業

若年性認知症について、一般住民への普及啓発や、地域で認知症患者に関わっている支援者を対象に、講演会やシンポジウムを開催しました。

開催日	内 容	講 師	会 場	対 象	参加者
H28. 10. 26	「認知症について学ぼう」	小田原市立病院医師 竹内 文一 氏 小田原市立病院看護師 浅川 健恵 氏	小田原 合同庁舎	一般住民、 患者家族、 支援者、関係 機関職員等	38
H29. 3. 7	「若年性認知症を知る シンポジウム ～知ること、 そして共感することから はじめよう～」	ひまわりメンタル クリニック院長 小林 博子 氏	小田原 合同庁舎	一般住民、 患者家族、 支援者、関係 機関職員等	56

(5) 介護予防・認知症予防支援事業

介護予防・認知症予防を目的に、コグニサイズの普及啓発を行いました。

回数	参加者
3回	559名

(6) 徘徊SOSネットワーク事業

徘徊する方の安全を守るため徘徊SOSネットワークとして、市町が事前登録、搜索保護の窓口を担当し、当事務所では広域搜索について市町、県庁との連絡調整を担当しています。なお、職員に対し伝言板を活用し搜索依頼を行いました。

ア 市町別徘徊SOSネットワーク事前登録状況

事前登録数	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
64 (36)	49 (29)	6 (4)	2 (0)	7 (3)

※()内は、H28年度新規登録数

イ ネットワーク実施状況

搜索依頼件数	発見者数	保護件数	身元判明件数	他地域からの 広域搜索依頼件数
0	0	0	0	55

ウ 徘徊SOSネットワーク担当者連絡会

平成12年に立ち上げたネットワークシステムを見直し、平成26年4月から防災主管課も組み入れたネットワークに変更しました。

開催日	内 容	出席者
H28. 10. 27	① 徘徊SOSネットワークの現状と課題について ② 平成28年度の取り組みについて	11

(7) その他

ア 認知症疾患医療センターとの連携

認知症疾患医療センターである曾我病院との地域医療連携強化に努めました。

開催日	内 容
H28. 9. 7	県西地区認知症疾患医療連携協議会への出席
H28. 12. 19	認知症疾患医療センターの事業評価への出席

9 精神保健福祉対策

地域における精神保健及び精神障害者の福祉のニーズは年々高まっていますが、当所では精神疾患の早期発見、早期治療、再発防止に努めるとともに、精神障害者の社会復帰のための援助を行いました。また、メンタルヘルスの推進を目的に普及啓発活動を行いました。

(1) 会議

保健福祉事務所管内における関係機関・団体等の連携により行われる各種保健・福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため関係機関で構成する会議を開催しました。

地域精神保健福祉連絡協議会

開催日	構 成 員	内 容	出席者数
H29. 2. 15	精神科医療機関 社会復帰関係機関 家族会 相談支援事業者 市町担当課 市町社会福祉協議会 精神保健福祉センター 保健福祉事務所	① 平成28年度の主な取り組みと今後の予定について ② 地域移行・地域定着支援について ③ その他	15

地域精神保健福祉連絡協議会・部会

開催日	構 成 員	内 容	出席者数
H28. 6. 6	精神科医療機関 社会復帰関係機関 家族会 相談支援事業者 市町担当課 市町社会福祉協議会 精神保健福祉センター 保健福祉事務所	① 平成28年度の主な取組みについて ② その他	16

(2) 精神保健福祉業務統計

精神保健福祉相談・訪問指導

ア 把握区分

	実人数	延人数
相 談	177 (131)	793
訪問指導	35 (0)	146

※ () 内は、保健所把握新ケース (内数)

イ 相談性別・年齢

	性別			年齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	84	93	0	0	14	13	20	36	32	23	12	27
延人数	412	381	0	0	19	90	99	125	337	54	38	31

ウ 訪問指導性別・年齢

	性別			年齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	19	16	0	0	1	7	4	9	7	5	2	0
延人数	102	44	0	0	1	34	11	32	48	12	8	0

エ 相談・訪問契機

	実人数	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	177	15	9	69	43	41
訪問	35	4	3	11	2	15

オ 相談種別

	実人数	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	177	65	94	4	6	8
訪問指導	35	20	14	1	0	0

カ 診断名

	実人数	統合失調症	気分(感情)障害	てんかん	器質性精神障害	中毒性精神障害		神経症	その他の精神障害	診断保留	精神障害と認めず	その他
						アルコール	覚せい剤・他					
相談	177	49	23	0	1	8	4	8	10	3	3	68
訪問指導	35	18	4	1	1	1	1	0	3	0	2	4

キ 相談者

	総数	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相 談	833	446	197	60	43	87
訪問指導	230	103	59	20	17	31

ク 担当者別相談回数

	総数	医師	福祉職	保健師	その他
相 談	815	27	740	44	4
訪問指導	199	32	144	4	19

(3) 普及啓発

ア 精神保健福祉講演会

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H28. 12. 7	大人の発達障害について	かながわエース 渡辺 整子氏	行政及び関係機関職員	58

(4) 団体支援

精神保健福祉関係団体への支援

	援 助 内 容	援助回数
精 神 障 害 者 家 族 会	総会、分科会	2
断 酒 会 、 A A	酒害相談研修会に出席、会場手続き等	13
地域活動支援センターⅢ型支援	総会・地域ネットワーク会議参加	4

(5) 家族支援

ア 精神障害者(主に統合失調症)の家族教室

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H29. 1. 10	統合失調症の病気の理解	国府津病院 物部 長承氏	統合失調症患者の家族	9
H29. 1. 24	統合失調症の理解	国府津病院 物部 長承氏	統合失調症患者の家族	5
H29. 1. 30	障害福祉の制度・サービス おだわら障がい者総合支援 センターについて	小田原障がい福祉課 職員 おだわら障がい総合支援セン ター職員	統合失調症患者の家族	7

(6) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく一般からの申請(法22条)・警察官通報(法23条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

	件数	指定医療診察結果				病院紹介	診察立会い (内数)	不実施
		要措置	不要措置					
			入院	入院外	医療不要			
22条	0							
23条	13	9	3				1	

イ 精神科病院実地指導・実地審査(法38条の6)

(ア) 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

精神科病院におけるより良い医療の提供と適正な管理運営に資するため、管内2病院に対し実地に実態を把握し、必要な指導を行いました。

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査(措置入院者等に対する精神保健指定医の診察)

施設数	審査結果					
	措置入院			医療保護入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2				9		

ウ その他の医療保護事務

	延件数
入院届	465
退院届	462
定期病状報告	208

(7) 自殺対策事業

管内関係機関職員(管内一市三町の自殺対策担当者、救急隊、医療機関、警察等)を対象に自殺の実態について共通認識を図るために担当者会議と自殺防止のための人材を養成するため研修会を開催しました。

ア 会議

実施日	内容	対象	参加者数
H29. 3. 15	① 県及び精神保健福祉センターからの情報提供 ② 各機関における自殺対策の取組み実績および今後の取組み 他	行政及び関係機関職員	10

イ 研修会

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H29. 3. 15	若年層の抱える問題と自殺について	アスク・ヒューマン・ケア取締役研修相談センター所長 水澤 都加佐氏	行政及び関係機関職員	17

(8) その他

地域移行、地域定着支援推進にむけた取組み（地域につなげようプロジェクトへの協力）

神奈川県精神保健福祉センターの平成28年度、29年度の調査研究（通称：地域につなげようプロジェクト）に県西障害保健福祉圏域がモデル地域として協力し、関係機関とともに会議、部会に参加しました。地域医療機関の協力の下で医療機関まで出向き、1年以上の長期入院者について患者の状況についての実態調査等を行いました。

開催日	内 容
H28. 9. 7	県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議への出席
H29. 2. 14	県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議への出席
H28. 12. 8	同部会への出席（長期入院患者の実態調査）